

Quality is more than a word

ESPEC



第 **72** 期

株主通信

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2024年度(2024年4月～2025年3月)は社会のデジタル化や脱炭素化を背景にEV・バッテリー関連の試験需要が増加するとともに、エレクトロニクス関連の投資が堅調に推移しました。生産面におきましては、受注残高の消化および生産負荷の平準化に向けて、要員の増加、生産スペースの拡大、外注の活用により国内の生産能力を增強しました。

当年度の経営成績につきましては、受注高は国内が好調に推移し、前年度比で8.4%の増加、売上高は国内の生産能力増強の効果などにより8.3%の増加となりました。利益面につきましては、販管費が増加しましたが、主に増収により営業利益は14.3%の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は20.8%の増加となりました。受注高・売上高・利益面いずれも前年度に続き過去最高を更新しました。また、ROE(自己資本利益率)は11.0%となりました。期末配当金につきましては3月に15円の増配発表を行い1株当たり60円、年間95円とさせていただきます。

この度、当社は中期経営計画「プログレッシブ プラン 2025」を1年前倒して達成したため、中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」を新たに策定いたしました。基本方針「筋肉質で持続可能な高利益体質の確立」のもと、この3年間は「質の向上」に舵を切り、持続的な企業価値向上に取り組めます。中期目標は、2027年度に売上高700億円、営業利益105億円、営業利益率15.0%、当期純利益76億円、ROE12.0%以上です。2025年度は、売上高680億円、営業利益85億円、営業利益率12.5%、当期純利益61.9億円、ROE 11.0%を計画しています。米国の関税政策による直接的な影響につきましては、当社は米国に子会社があり現地生産比率が高いことや、米国・中国間の貿易もほとんどないことから軽微と見ております。引き続き状況を注視し適切に対応してまいります。また、当社は配当基本方針を改定し、中期経営計画期間においては3年間累計で総還元性向を50%以上とし、減配を行わないことを明確にしております。

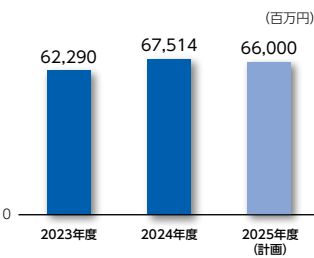
株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



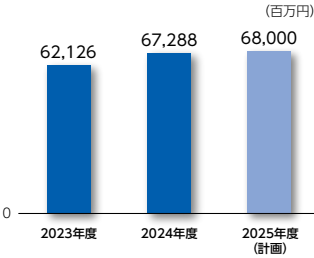
◀決算説明会の動画をご覧ください

- ・決算説明会では、中期経営計画もご説明しています
- ・中期経営計画については、第73期中間株主通信にてご紹介する予定です

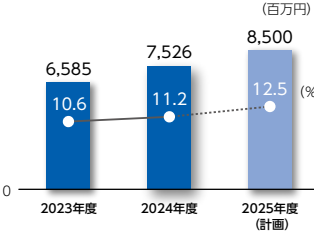
受注高



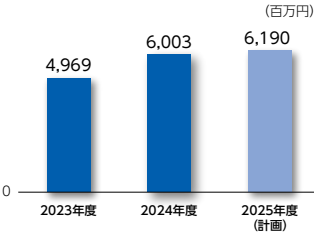
売上高



営業利益・営業利益率



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金

	2023年度	2024年度	2025年度計画
中間	25 円	35 円	45 円
期末	50 円	60 円	70 円
合計	75 円	95 円	115 円
配当性向	33.0%	34.5%	40.6%



## 2025年2月、「あいち次世代モビリティ・テストラボ」サービス開始 車載用バッテリーおよびEV・自動化モジュールの試験需要に対応

「あいち次世代モビリティ・テストラボ」として、2025年2月愛知県常滑市に開設した「あいちバッテリー安全認証センター」と、4月に機能を拡張した「豊田試験所」をご紹介します。

### 試験需要が高まるモビリティ業界

モビリティ業界では車載用バッテリーの大型化・大容量化や自動運転技術の開発が進むなか、車載用バッテリーの安全性やEV・自動化モジュールの信頼性確保に向けた試験需要が高まっています。この需要にお応えするため、あいちバッテリー安全認証センターを開設しました。2月12日の開所式では、自動車関連メーカーを中心とするお客さまや報道関係者など約100名の方々に最新の試験設備を見学いただきました。また、4月には豊田試験所の機能を拡張し、中日本エリアにおける受託試験サービスを拡充しました。

### 次世代モビリティの技術革新・実用化に貢献

あいちバッテリー安全認証センターでは、大型化・大容量化が進むバッテリーの安全性試験に対応し、EVの心臓部とも言えるバッテリーの性能・品質を支えます。豊田試験所では、動作状態のEV・自動化モジュールを使用環境で評価・計測するサービスを強化し、EV・自動運転技術の課題解決に貢献します。これらのサービスにより次世代モビリティの試験需要に全方位でお応えします。環境試験器の世界トップメーカーとして最新の試験設備と高い試験技術・知見を活かし、次世代モビリティの技術革新と実用化に貢献してまいります。

### あいちバッテリー安全認証センター開所式



来賓代表 愛知県の大村知事よりご祝辞



センターの特長や試験技術を紹介



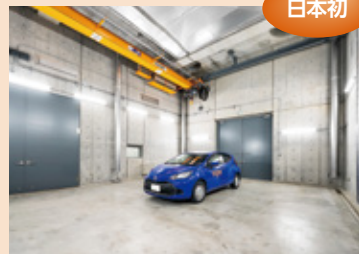
最新試験設備を見学

## ■ 国内最大級の車載用バッテリー専門試験所 [あいちバッテリー安全認証センター]

最新の試験設備を備え、大型化・大容量化が進む最先端バッテリーの安全性試験に対応する国内最大級の車載用バッテリー専門試験所です。2015年設立の「とちぎバッテリー安全認証センター」(栃木県宇都宮市)で培った試験技術と知見により、国連規則ECE-R100に対応した安全性試験・認証のワンストップサービスや各種試験規格に対応した受託試験サービスを提供します。コンクリート構造の大型安全試験室を3室(10m×8m 1室、6m×5m 2室)設置。さらに、自動車が1台入る恒温恒湿室(6m×4m)や減圧試験装置(2.8m×1.8m)、冷熱衝撃装置(2.8m×2.1m)など大型試験設備をそろえています。また、安全に試験が行えるよう万全の消火・排気・排水システムを完備しています。



あいちバッテリー安全認証センター



コンクリート構造の安全試験室を3室設置



国連規則のガスバーナー仕様の耐火性試験設備

## ■ 多岐にわたる車載用電装品の試験に対応 [豊田試験所]

豊田試験所は約200台の装置を備える当社最大の総合試験所であり、ISOやIEC、中国GB規格、ドイツ自動車業界規格LV124など多様な試験規格に対応しています。この度、e-Axle・PCU・ECUなど大型化するEV・自動化モジュールを動作させた状態での使用環境を再現し評価・計測するサービスを新たに開始しました。また、日本で初めて大型モジュールの水環境下を想定した水没試験装置を設置しています。



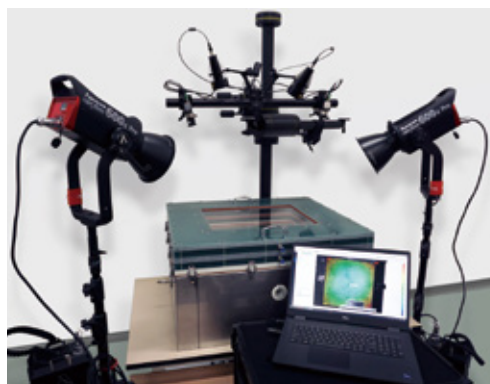
豊田試験所





## 高性能半導体の受託計測サービスを拡充

2025年1月、高性能半導体向けの受託計測サービス(熱変形計測サービス・熱画像解析サービス)を拡充しました。生成AI用サーバーや自動運転を支える半導体や実装基板は、微小化・高密度化・多層化に加え、これらが搭載される電子機器の高精度化・高速処理により発熱量が増加しています。そのため、開発・設計段階において温度変化による影響を把握し、発熱抑制や放熱促進などの熱対策を行うことが重要となっています。こうした需要にお応えするため、半導体パッケージや実装基板の反り変形を可視化できる「熱変形計測サービス」において温度範囲の高温側を拡大し-40 ~+260℃に対応、さらに大型基板サイズに対応しました。また、恒温環境下で高速・高精度の熱画像解析が可能な「熱画像解析サービス」を開始しました。今後も先端技術分野における「熱」の技術課題解決に貢献してまいります。



熱変形計測システム

恒温環境下における試験サンプルの反り変形を可視化

## 東京で個人投資家向け会社説明会を実施

2025年3月、東京都中央区で日本証券新聞社主催の個人投資家向けIRセミナーに参加し、135名のみなさまにお越しいただきました。社長の荒田より、競争優位性や株主還元などについて説明したほか、株式評論家の櫻井英明氏とのQ&Aセッションを行いました。



▲  
当日の動画を  
ご覧いただけます

## 経産省「全国みどりの工場大賞」において 「経済産業大臣賞」を受賞

2024年12月、神戸R&Dセンターが2024年度緑化優良工場等表彰制度(全国みどりの工場大賞)におきまして「経済産業大臣賞」を受賞しました。



## エスペックミックが2025大阪・関西万博に協力

在来種を活かした「森づくり」「水辺づくり」や、植物工場、アクアポニックス（水耕栽培と陸上養殖を組み合わせた循環型生産システム）を手掛けるエスペックミック株式会社が、2025大阪・関西万博の展示に協力しました。

### 「大屋根リング」「静けさの森」など会場各所に植物を植栽したマットや苗を提供

会場のシンボルである「大屋根リング」には日本の在来種であるチガヤを植栽したマットやススキの苗を、「静けさの森」には野草や池の水際を縁取る水生植物を提供しました。EXPOナショナルデーホールやハンガリー館、クウェート館、シグネチャーパビリオンなどにも植物を提供しています。



大屋根リング



静けさの森

### 「大阪ヘルスケアパビリオン」アクアポニックス展示に協力

「大阪ヘルスケアパビリオン」では、アクアポニックス展示共同企業体として大阪公立大学植物工場研究センターと連携し、アクアポニックス「いのちの湧水（いずみ）」の展示に協力しました。アクアポニックスは、水槽で魚を養殖し、その排泄物を微生物が分解してできた養分で植物を栽培する循環型生産システムです。装置の下部に4つの水槽を配置し、上部に3層の水耕栽培棚を設け、耐塩性植物（海藻など）や準耐塩性植物（ミニトマトなど）、機能性野菜（レタスやハーブなど）、食用の花（エディブルフラワー）を栽培しています。

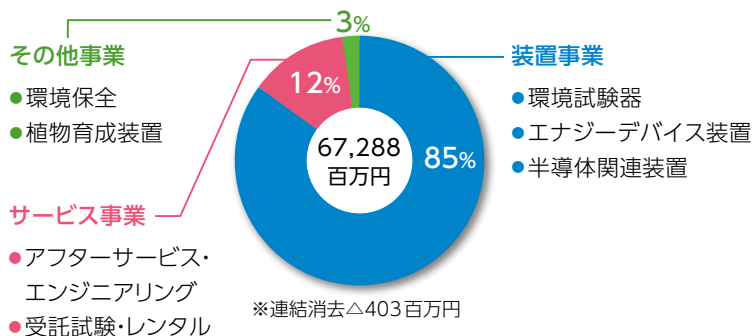


アクアポニックス「いのちの湧水（いずみ）」

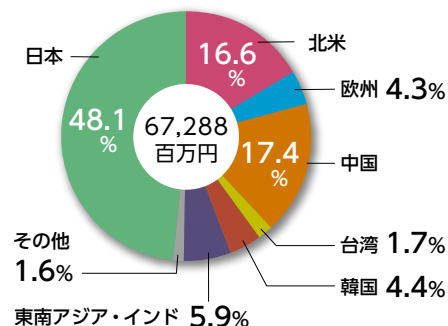
— エスペックグループは、大阪・関西万博を応援しています —

# 事業セグメント別概況

事業セグメント別売上高構成比



地域別売上高構成比



## 装置事業

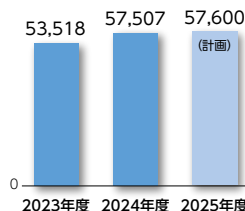
環境試験器については、国内市場では、汎用性の高い標準製品、カスタム製品いずれも前年度比で受注高・売上高ともに増加しました。海外市場では、受注高は主に北米、中国が増加しましたが、東南アジアが減少し前年度並みとなりました。売上高についても、欧州が減少したものの東南アジア、北米、韓国が増加し前年度並みとなりました。なお、中国は前年度と同水準でした。エナジーデバイス装置については、EVバッテリー向け一括案件の投資に一服感があり、主に国内において前年度比で受注高・売上高ともに減少しました。半導体関連装置については、サーバー関連の大型案件の受注獲得により、前年度比で受注高は増加しましたが、売上高はメモリ関連の投資抑制の影響を受け、大幅に減少しました。装置事業全体では、前年度比で売上高は7.5%増加し、販管費が増加したものの主に増収により営業利益は13.0%増加しました。



試料温度を20℃/分で制御可能な  
急速温度変化チャンバー (TCC-151W-20)

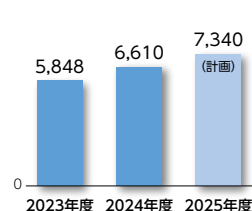
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)





## サービス事業

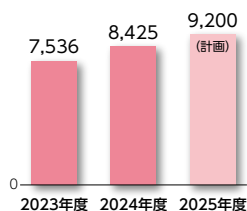
アフターサービス・エンジニアリングについては、予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、前年度比で受注高・売上高ともに増加しました。受託試験・レンタルについては、EVバッテリー向け試験設備増強の効果が、前年度比で受注高・売上高ともに増加しました。サービス事業全体では、前年度比で売上高は11.8%増加し、人員増などにより販管費は増加しましたが売上高の増加により、営業利益は16.4%増加しました。



2024年度、とちぎバッテリー安全認証センターを拡張  
充放電試験および通電環境試験の試験設備を増強

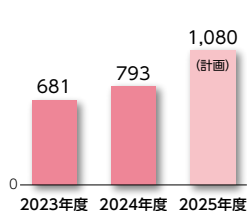
### 売上高

(百万円)



### 営業利益

(百万円)



## その他事業

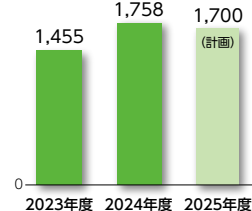
環境保全事業および植物育成装置事業を中心とするその他事業では、水辺づくりや森づくりが堅調に推移し、さらに植物研究用装置や植物工場の大型案件がありました。また、大阪・関西万博で展示されるアクアポニックス（植物の水耕栽培と陸上養殖を組み合わせた循環型生産システム）や会場の緑化のための植物苗・資材も納入しました。こうした結果、前年度比で売上高は20.8%増加、売上高の増加により営業利益は146.3%増加しました。



在来種によるビオトープとエスベックの森（神戸R&Dセンター）

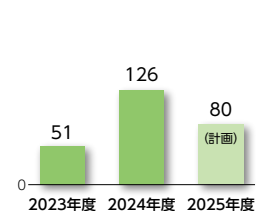
### 売上高

(百万円)



### 営業利益

(百万円)



# 要約財務諸表

## 連結貸借対照表

(百万円)

科 目	前年度末 2024年3月31日	当年度末 2025年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	54,674	50,589
固定資産	23,560	25,257
有形固定資産	14,126	15,925
無形固定資産	2,259	2,100
投資その他の資産	7,174	7,232
<b>① 資産合計</b>	<b>78,235</b>	<b>75,847</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	22,447	15,421
固定負債	3,072	3,732
<b>② 負債合計</b>	<b>25,519</b>	<b>19,153</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	47,722	51,843
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,053	7,053
利益剰余金	37,091	41,212
自己株式	△3,318	△3,318
その他の包括利益累計額	4,993	4,850
<b>③ 純資産合計</b>	<b>52,715</b>	<b>56,693</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>78,235</b>	<b>75,847</b>

## ① 総資産

前年度末と比べ2,388百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金の返済等に伴う現金及び預金の減少3,726百万円、売上高の増加に伴う売上債権(受取手形、売掛金及び契約資産並びに電子記録債権)の増加2,015百万円、設備投資による有形固定資産の増加1,799百万円、棚卸資産の適正化へ向けた取り組みによる仕掛品、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産の減少1,172百万円、未収入金等その他流動資産の減少903百万円等によるものです。

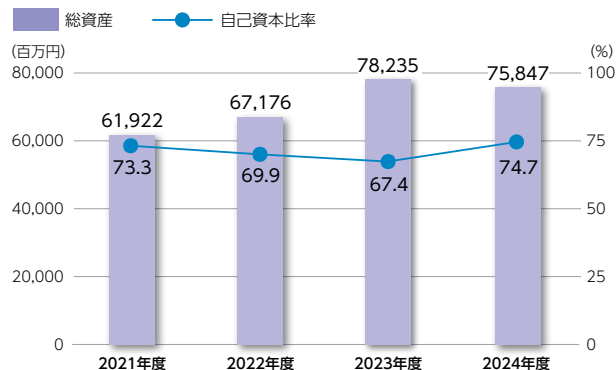
## ② 負債

前年度末と比べ6,365百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金の減少5,000百万円、仕入債務(支払手形及び買掛金並びに電子記録債務)の減少2,804百万円、リース債務等その他固定負債の増加810百万円等によるものです。

## ③ 純資産

前年度末と比べ3,977百万円の増加となりました。これは主に、当連結会計年度において親会社株主に帰属する当期純利益が6,003百万円計上された一方、配当金として1,876百万円が剰余金処分されたこと等による利益剰余金の増加4,121百万円等によるものです。

## 総資産・自己資本比率

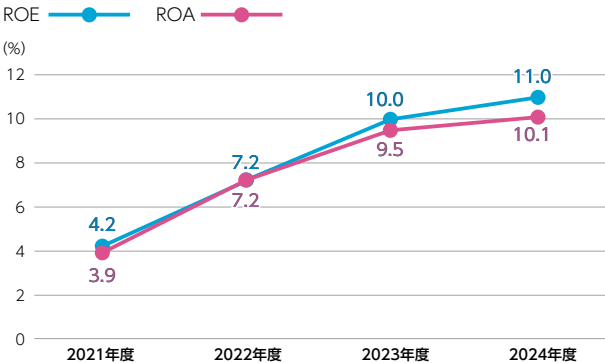


# 連結損益計算書

(百万円)

科 目	前年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	当年度 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	62,126	67,288
売上原価	40,132	43,300
売上総利益	21,994	23,987
販売費及び一般管理費	15,408	16,460
営業利益	6,585	7,526
営業外収益	383	410
営業外費用	49	144
経常利益	6,919	7,793
特別利益	6	364
特別損失	9	31
税金等調整前当期純利益	6,916	8,126
法人税等	1,937	2,123
当期純利益	4,978	6,003
非支配株主に帰属する当期純利益	9	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,969	6,003

## 自己資本利益率 (ROE) ・ 総資産経常利益率 (ROA)



# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	前年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	当年度 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,738	4,445
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,778	△1,154
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,798	△7,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	736	△74
現金及び現金同等物の増減額	2,495	△4,027
現金及び現金同等物の期首残高	14,298	16,793
現金及び現金同等物の期末残高	16,793	12,765

## ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は4,445百万円となりました。  
これは主に、税金等調整前当期純利益8,126百万円の計上による資金の収入、仕入債務の減少による資金の支出2,779百万円、売上高の増加に伴う売上債権の増加による資金の支出2,111百万円、法人税等の支払による資金の支出2,026百万円、減価償却費の計上1,723百万円、棚卸資産の適正化への取り組みによる棚卸資産の減少による資金の収入473百万円等によるものです。

## ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1,154百万円となりました。  
これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出2,182百万円、信託受益権の純減額による資金の収入504百万円、投資有価証券の売却による収入516百万円等によるものです。

## ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は7,245百万円となりました。  
これは主に、短期借入金の返済による支出5,000百万円、配当金の支払額1,870百万円等によるものです。

# 会社概要・株式の状況・株主メモ

## 会社概要(2025年3月31日現在)

社名	エスベック株式会社
本社	〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6
創業	1947年(昭和22年)7月25日
設立	1954年(昭和29年)1月13日
資本金	6,895百万円
従業員数	1,860名(連結) 838名(単体)

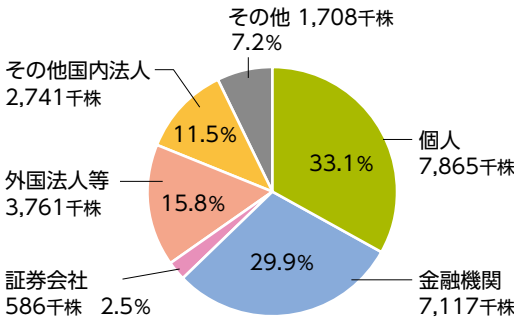
## 役員(2025年6月20日現在)

代表取締役 執行役員社長	荒田 知
取締役 常務執行役員	末久 和広
取締役 執行役員	西谷 淳子
取締役 執行役員	小田 秀征
取締役 執行役員	吉野 俊彦
社外取締役	柳谷 彰彦
社外取締役	平田 一雄
取締役(常勤監査等委員)	石井 邦和
社外取締役(監査等委員)	田中 崇公
社外取締役(監査等委員)	吉田 恭子
執行役員	渕田 健二
執行役員	梅原 武彦
執行役員	梶口 宜弘

## 株式の状況(2025年3月31日現在)

発行済株式総数	23,781,394株 (自己株式1,708,804株を含む)
株主数	9,484名

### 所有者別株式数分布状況



### 大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,342	15.14
エスベック取引先持株会	1,673	7.58
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	1,567	7.10
エスベック従業員持株会	732	3.31
日本生命保険相互会社	553	2.50
MSIP CLIENT SECURITIES	503	2.28
第一生命保険株式会社	276	1.25
住友生命保険相互会社	268	1.21
JP MORGAN CHASE BANK 385781	257	1.16
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/25/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	250	1.13

※持株比率は自己株式を除いて計算しています。

## 株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
中 間 配 当 制 度	有
基 準 日	3月31日および取締役会決議によって あらかじめ公告して臨時に定めた日
株式上場取引所	東京証券取引所(証券コード:6859)
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(通話料無料) (土、日、祝日を除く9:00~17:00)
株主総会資料の 電子提供制度 (書面交付請求) お 問 合 せ 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324(通話料無料) (土、日、祝日を除く9:00~17:00)
お 取 扱 店	みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店)
未 払 配 当 金 の お 支 払 い	みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店) 株式会社みずほ銀行(本店および全国各支店)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載の当社ウェブサイトURL <a href="https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html">https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html</a>  ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載

## お問合せ先

エスペック株式会社 サステナビリティ推進部 IR・広報グループ  
Tel: 06-6358-4744 e-mail: ir-div@espec.jp

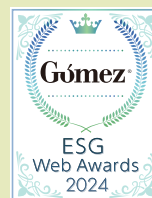
## IR・メール配信サービスのご案内

### ■ IRメール配信サービス

IR情報をタイムリーにお知らせします。IRサイト  
よりご登録いただけますのでぜひご利用ください。  
<https://www.espec.co.jp/ir/dirnet.html>



### ■ IRサイトに対する社外評価



### 株主アンケートのお願い

当社は、株主のみなさまからいただいたご意見を真摯に受け止め、IR活動に反映させていきたいと考えております。つきましては、別紙アンケートへのご協力をお願い申し上げます。アンケート結果は中間株主通信にてご報告予定です。

また、ご回答いただいた方の中から、抽選で300名に1,000円分のQUOカードを進呈いたします。(当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます)

締切: 2025年7月22日(火) ※当日消印有効

利便性や環境配慮の観点からアンケートのWeb化を進めておりますが、今回はハガキにて実施させていただきます。



証券コード:6859

エスペック株式会社



表紙・裏表紙の写真について

自然豊かな当社神戸R&Dセンター エスペックバンビの里の写真を用いました。  
表紙のお花はアセビ、裏表紙はヒバリです。